

平成22年度 実践報告書

連絡協議会	P. 1
公開指導（第1回 - 南部中）・意見交換会	P. 4
公開指導（第2回 - 東小）	P. 9
指導例（学校訪問 - 曾野小）	P.10
視察（市外）・問い合わせ	P.12
・ 愛知県小牧市 教育委員会視察，問い合わせリスト一覧	
こども未来財団 多文化プレスクール研修会	P.13
全国海外子女教育国際理解教育研究協議会 東海ブロック	P.13
滋賀県「帰国・外国人児童生徒受入促進事業」フォーラム	P.14
愛知教育大学 外国人児童生徒受入研究事業 講演会	P.16
マニュアルの改定	P.17
教材 新規作成・編集分	P.17
翻訳文書 新規作成，修正分	P.17
日本語・教科テストの改定（新指導要領に合わせて）	P.18
保護者への発信	P.18
岩倉市日本語検定（検討中）	P.18
外国人児童生徒の保護者向けオリエンテーション	
通訳配置・日本語能力試験・職場体験	P.19
文部科学教育通信「国語教育と日本語教育」	P.21
個人調査票作成	P.22
担当者会・研修会	P.24
外国人児童生徒 追跡調査(H13～H22)作成	P.24
巡回担当者会	P.24
情報交換会 ～外国人児童生徒の将来について～	P.25

H22 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 連絡協議会

平成22年4月15日
議事進行 指導主事

会長あいさつ（教育長先生）

年度初めのお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。日本語・ポルトガル語適応指導教室連絡協議会ということで本日こんなに多くの方に集まっていたのですが、おかげさまで、県費負担の直接の担当者が本年度も7名、岩倉市から2名の指導者を確保することができました。昨年と同じ数で9名のスタッフの皆さんを中心にこの教室が順調に歩んでいけるように念願するものであります。とりわけ、本年度も主任を村瀬先生にお願いするわけですが、皆様、村瀬先生のもと、力を発揮できるようにお願いを申し上げます。9名のスタッフの中には新しく指導者に加わったスタッフもいます。岩倉市の適応指導教室は非常にレベルが高く県外からの視察も例年たくさん来ていただいております。そういう中での活動でございます。さらに今まで以上に充実したものにしていけたらと思います。



願いはたった1つでございます、外国籍の子であろうと、どの子どもも将来幸せになってほしい。たったこれだけの願いでございます。その目標達成ため皆様方のお力添えが必要になります。本年度117名という外国籍児童の数でございます。去年一昨年は120名と記憶しておりますので、ほとんど横ばいの状態でございます。御存じのように景気が低迷しているわけでありまして、ひょっとしたら多くの子どもが母国へ帰るのではないかと思いましたが、確かに何人かの子どもは帰ったわけですが、新しく他の地区から岩倉の地へ入ってくる子どもが結構ありました。岩倉には常に百数十名の子どもがこの教室に通って学習しているというわけです。それは、この岩倉の適応指導教室がうまくいっているひとつの証ではないかと思っています。この会が皆様方の協力によりスムーズな意見交換と学校間の交流がなされ、それぞれ学校に理解を示していただくという会になりますようにと、最初の挨拶に変えさせていただきます。どうぞ今年1年間よろしく申し上げます。

連絡協議会メンバー

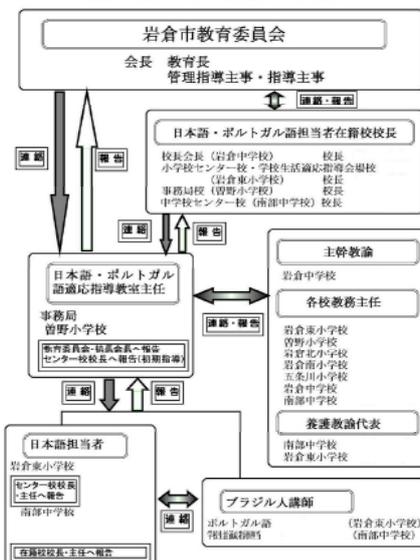
- ・ 教育長
- ・ 教育委員会（管理指導主事、指導主事）
- ・ 校長会長（岩倉中学校）
- ・ 在籍校校長（センター校校長・南部中・東小、曾野小校長）
- ・ 主幹・教務主任
- ・ 養護教諭代表（センター校養教・南部中・東小）
- ・ 日本語担当（主任、東小在籍、南部中在籍、曾野小在籍）
- ・ ブラジル人講師（ポルトガル語 初期指導・ブラジル人講師）

日本語・ポルトガル語適応指導教室について

～ 昨年度との変更点を中心に～

- ・ 担当者、東小3名、南部中3名、曾野小1名
- ・ 集中初期指導 学校生活適応指導への改名
取組に付いて

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室
平成22年度 連絡協議会 組織図



- ・ マニュアルを一部改定
- ・ 拠点校方式
- ・ 特色
- ・ ポルトガル語指導
- ・ 国籍別一覧
- ・ 適応指導時間
- ・ 理念
- ・ 日本語能力試験
- ・ 外国人児童生徒の推移
- ・ ホームページの改訂

連絡協議会

- ・ 中学校センター校の設置
(公開指導, 意見交換会)
- ・ 中学校センター校は南部中学校
養護教諭も南部中学校で。

巡回担当者会

- ・ 実施日時
- ・ ステップ(指導段階)の見直し
- ・ ステップ1~4(4段階)
- ・ ステップ0~ステップ4(7段階)
- ・ 学校生活適応指導(集中初期指導)
- ・ ステップ0指導

実践報告書

書類関係

- ・ 受入れ手続
- ・ 保険関係
- ・ 英語翻訳文書の整備

評価

- ・ 5言語対応版

今年度の予定

- ・ 公開指導, 意見交換会 - 南部中 6月30日(水)
- ・ 公開指導 - - - - - 東小 11月 未定

今年度の課題

- ・ 保護者への発信(ボイスボックス, ホームページなどの活用)
- ・ 東・南中のボイスボックス
- ・ 携帯からホームページへのアクセス
- ・ 日本語・教科テストの改定
- ・ 日本語指導法の確立(指導項目, 内容, ファイルなどの整理)

諸連絡

- ・ 連絡先
- ・ 保険加入状況, 保険未加入児童生徒への承諾書
- ・ 外国人児童生徒数報告



意見交換・質疑・応答

- ・ 公開指導後の意見交換会は研究室など場所を提供するものなのか。
教務主任と日程調整を行い, 議会がないところなどで6月30日に, 設定させていただいた。公開指導は3つ行う。3名の担当者と水上先生の方と日本語を2パターンで行いたい。日本語教室だけでは足りない。日本語教室は一つしかない。一昨年度は, 視聴覚室を2つにわけ, それと日本語教室で3つ行った。意見交換会は研究室で行うのか視聴覚室で行うのか後日相談。
2時間目の時間に設定してもらい, 3時間目に意見交換会を設定, 給食前には日程を終えたい。意見交換会への参加は多くても20名くらいではないか。

- ・ 巡回担当者会のメンバーは？
日本語・ポルトガル語指導教室のメンバー9名，校長，教務主任，担任の先生。
- ・ 保護者も担任の都合もつけば，月火の4時間の授業後，自然教室や修学旅行もあるので，早いうちに早めに持っていただくと効果的である。
今回，岩倉中，南部中，東小，曾野小学校の自然教室，修学旅行の説明会の通訳は，それぞれ可能。フィリピン語は対応できていない。
日程希望用紙を配布する。
- ・ 巡回担当者会南小5月の13日木曜の午後は？
担当者会はできれば，火曜・水曜で。
保護者を呼ばないのであれば，どこでも可能。
日程はまた，各校と村瀬先生と指導主事との方で検討させてもらう。

その他

- ・ 岩倉中学校の保護者との話し合いの場は早期に実現したい。

御指導

(校長会長)

私が教育センターにいたとき村瀬先生には講師として来ていただき，全県でご指導いただいた。そういう意味で冒頭のあいさつであったように他の地区から視察があるのは当たり前だと思う。どんどんいろいろなアイデアを取り入れていただいて，手厚い指導で子どもが適応できるよう頑張っているのだから，学校としては全面的にバックアップしたい。そういう意味で，遠慮なくいろいろな事を言ってもらいたい。



(管理指導主事)

本年度も120名弱の児童生徒への指導で，学校に在籍する外国人児童生徒の数はそれぞれ違う。それぞれの学校で子どもたちの取り出し指導がスムーズに行われるよう教務の先生方と担任の先生方と，担当者が取り出し児童生徒に対して同じ方向でもって接して欲しい。担任の先生がスムーズに送り出せるような環境を作り出せるようにして欲しい。担任が送り出しを忘れてしまうということがあると担当者の方も指導が行き届かないということがあるので，時間割の確認や，担当者とのパイプ役を教務主任の先生にお願いしたい。連絡を取りながらスムーズな運営が出来るように，子どもたちが日本語・日本の生活になれる協力いただけたらと思う。母語の話せる先生が一人増えたということで，またひとつ心強くなった。



水上さん・沼倉さんにいつもお願いするばかりで，勤務時間外の依頼が多かったところを少しでも職員で対応できるところが増えた。今年度，ブラジル人講師のお二人を東小2名在籍だったのを東小・南部中学校においた。なにかあったら連絡をとりあっていただきたい。なにかと不安になれるのは外国のお母さん方だと思うので，そういったところの窓口となっていただきたい。

公開指導（第1回 - 南部中）平成22年6月30日（水）2時間目 9:45～10:30
指導場所及び指導内容等

	ポルトガル語指導	日本語指導	日本語指導
指導場所	視聴覚室	日本語指導教室	視聴覚室
	南館2階	南館2階	南館2階
指導内容	ポルトガル語指導	日本語初級・中級指導	日本語上級指導
外国人生徒の状況及びねらい	日本に長く住んでいる生徒は母語であるポルトガル語を忘れてしまい、親とのコミュニケーションがとれなくなったり、帰国したときに不自由したりする。そこで、母語を保持するとともに、ブラジルの教育を取り入れて指導している。	聞く、話す能力は、ある程度身に付き、簡単な受け答えはできるが、読む、書く能力が身に付いていない生徒に対して、学校生活に必要な語彙を増やし、自分の気持ちを日本語で表現できるように指導している。	日本語を読んだり、書いたりする能力は、ある程度、身に付いているが、まだ、教室での授業についていけない生徒に対して、教科指導や日本語能力試験対策をしている。
指導者	ブラジル人講師	日本語担当者	日本語担当者
指導する外国人児童生徒	・2年生 4名	・1年生 2名 ・2年生 1名 ・3年生 1名	・2年生 2名 ・3年生 2名

ポルトガル語指導（視聴覚室）

同音異義語について知り、使い方を練習する。
カンマやハイフン、文の末尾につける点の使い方を覚える。
ポルトガル語の文を聞き取り、カンマやハイフンを使って、文を書く。



日本語初級・中級指導（日本語教室）

提示された絵に表記された漢字の間違ひを見つけ、正しい漢字をおぼえる。
「交差点」や「2つ目の角」など、道案内に必要な語いを学ぶ。
教科（理科）生活する場所や育ち方を考えながら、昆虫の『へんたい』について学習する。
異なったレベルの聴解問題を解く。



日本語中級指導（日本語指導教室）

怒りの感情を表す表現を知り、その表現が表す怒りの程度や、その表現の用法を学習する。
相手や状況に応じて、表現のていねいさを変えて会話の練習をする。
安土桃山時代から明治初期の、日本と諸外国の関わりを外来語を通して学ぶ。



意見交換会（地域の方 - 南部中） 平成22年6月30日（水）10:45～11:40

参加者

- ・ 市議会議員
- ・ 虹の架け橋教室
コーディネーター
- ・ 教育委員会教育長
- ・ 管理指導主事
- ・ 指導主事
- ・ 岩倉東小学校 校長
（小学校センター校）
- ・ 曾野小学校 校長
- ・ 岩倉北小学校 教頭
- ・ 南部中学校教頭
- ・ 南部中学校養護教諭
- ・ 曾野小学校 校務主任
- ・ 適応指導教室主任，日本語担当者3名，ブラジル人講師1名



公開指導 会場校 教頭あいさつ

- ・ 本校の生徒は437名のうち外国人は35名で約8%
- ・ 日本語適応指導教室は実態に応じた指導，実践に基づいた指導で，全国的にも高く評価されている。
- ・ 母国語，日本語両面からの指導での生徒の，生活習慣の指導，日本語の先生による私生活の悩み，心のケアなどありがたく思っている。
- ・ 岩倉市になくらはならない存在，未永い存続でありたいいろいろなところからご尽力いただけるとありがたい。

日本語・ポルトガル語適応指導教室について

- ・ 目的，特色，理念は開設当初から同じ。
- ・ 外国籍児童生徒が日本語を習得し学校に適應していくように活動している。
- ・ 外国人児童生徒の適應が，日本の生徒にもいい影響を与えていく。
- ・ 自分たちができるのは心の居場所，活躍の場，授業で活躍できる自信をもたせてあげるというサポート的な存在。
- ・ 岩倉市は日本語適応指導教室を市内7校で協力体制をもって指導にあっている。
- ・ 連絡協議会は総勢26名で進められている。



（4本柱について）

- ・ 学校生活適応指導 - - 言葉の指導より日本の学校になれるようになるため，東小で約一ヶ月集中的に指導。
- ・ 日本語指導 - - - - - ことばの指導だけでなく，教室で活躍できるように教科指導を含める。
- ・ 日本語能力試験指導 - 希望者対象に指導，現在能力試験指導は約20名の児童生徒に指導している。
- ・ ポルトガル語指導 - - 母語を忘れると保護者とのコミュニケーションがとれなくなる。また，ブラジルの教科書を使い，帰国したときに役立つようにしている。

(卒業後の進路について)

- ・ 中学校は将来のこと，進学，就職が関わってくる。
- ・ 犯罪が増えたり，岩倉市があることにつながってくる。
- ・ 小学校の低学年から来ている子どもは高校進学できている。
- ・ 日本語能力試験1級2級の子どもは進学できている。
- ・ 今年度小牧南に入った子はブラジルでかなり日本語の勉強をしてきていた。中2でこちらに来てからも大変努力して高校へ入った。
- ・ 誠信高校へ入った生徒は中2で来日会話はできなかったが学力はもともとあった。推薦をもらって進学した。
- ・ 普段の生活態度が進学に大きく関係している。
- ・ 昨年度就職の3名は未だ就職できていない。
- ・ 高校は卒業しないと将来日本で生きていくのは難しい。
- ・ 今度の日曜日日本語能力試験が行われる。N2受験者4名，愛知学院大学で受ける。
- ・ 精神的に落ち着かせるためと安全な行き帰りのために引率は日本語担当で行う。
- ・ 大人ばかりの中で受験して合格していつている。
- ・ 冬は20名ほぼ受験という形になると思う。

意見交換

(指導主事)

- ・ 日本語能力試験は就職に有利なのか。

(日本語担当者)

- ・ 就職のときに有利になる。N1レベルは，中学校ですでてくる常用漢字，敬語など，中学校の国語より難しいものもある。
- ・ 合格しているということはかなり日本語の能力がある。
- ・ 母国に帰っても，就職に役立つ。

(主任)

- ・ 日本で就職する場合，外国人の中で主任になれることがある。
- ・ 中国では日系企業では，2級以上ないと就職できない。

(虹の架け橋教室)

- ・ とにかく取れる資格は取らせたい。
- ・ 自信につながる。
- ・ 能力試験を中学校でやっていることに驚いた。

(南部中学校 教務主任)

- ・ 小牧南へいった生徒は来日してからめきめきと力を伸ばし，南中でトップレベル。
- ・ 学校の子どもは日本語が堪能で話す分には困らない子どもが多い。
- ・ 読み書きで詰まり，日本語のせいで学力が思うように出ない。
- ・ 就職では外国人だからという特別扱いはないから努力が必要。
- ・ この不況では，就職する場合早めに準備しないと就職につながらない。
- ・ 進路に関して，日本人よりきめ細かく指導が必要。
- ・ アルバイトすら見つけるのが難しい状況。
- ・ 学校適応指導に入る際，スムーズに対応してもらっている。

(指導主事)

- ・ 就職する外国人生徒への受け入れの基盤のようなものはあるのか。

(市議会議員)

- ・ 専門用語まで必要になる。
- ・ 言語能力よりその子どものやる気を大切にする。
- ・ 性格が大切で人間を見ているところが大きい。

(南部中学校 教頭)

- ・ 全くお金はない制服もない，そんな子が明日から学校に来たいと連絡があって驚いたが，そういった中での受け皿が大切。
- ・ 保護者の気持ち子どもの気持ちを最大限受け止めたいが，そういったところの助成的なところは難しく学校として困ることがある。

(南部中学校 養護教諭)

- ・ 外国人生徒も保健室に来る。
- ・ 学校でも日本人と同じように扱われているのに，なにかあると「どうせ外国人だから」と言うことがある。
- ・ どこかで日本語が分からない，ついていけない部分があり，どうしてもそう考えざるを得ないところがある。
- ・ 一生懸命馴染もうとしている
- ・ 家庭では厳しい状態であり，家では日本人以上に努力している。
- ・ 保健室・日本語教室も子どもの心のよりどころ。

(指導主事)

- ・ 生きていく力を育てられるようにしたい。
- ・ 小学校では，外国籍児童の問題，傾向などはないか。

(岩倉北小学校 教頭)

- ・ 北小には日本語指導が必要な児童はいないが，様々な国籍の児童がいる。
- ・ 国際結婚でおばあちゃんとお父さんの宗教とお母さんの宗教が違って，そこで子どもが参っているというケースがある。

(曾野小学校 校長)

- ・ この日本語の環境は大切だと思った。
- ・ 日本人に対してもあそこまで指導できてないのではないかと思うこともある。
- ・ 豊田の保見でのトラブルなどメディアからの情報があって，問題と捉えてしまう。
- ・ このシステムが大切である

(岩倉東小 校長 小学校センター校)

- ・ ブラジル人の中でも意識の差がある。
- ・ 我々の接し方が大切。
- ・ 保護者も悩みがある。
- ・ どんな暮らしをしているかが見えないからアドバイスができない。
- ・ 苦労が見えてくると子ども本人への見方が変わってくる。
- ・ 子どもを大事にしてあげることが大切。
- ・ 細かいニュアンスが難しい。
- ・ 国語の積み上げが難しい。

(管理指導主事)

- ・ なんとか学校に学用品をストックできないか。
- ・ 卒業する子どもたちにランドセルなどの寄付をお願いしたことがある。
- ・ 子どものランドセルを寄付したこともある。
- ・ 中学校は制服という問題が大きい。制服リサイクルを呼びかけて，レンタルできるような対応の準備が出来ると良いのではないか。

(南部中学校 教務主任)

- ・ 南中のバザーで購入する外国人の保護者も多い。
- ・ 残った物はストックするが，体に合わない，男子のものが少ない。

(主任)

- ・ 最初からありますと言うと買わなくなってしまうので，言わないよう

にしている。

(市議会議員)

- ・ 母語指導では子どもたちの表情が明るく、母語は大切だということがよくわかった。
- ・ 今日のポルトガル語の指導は何年生の内容なのか。

(ブラジル人講師)

- ・ 小学校5・6年生の内容を指導した。

(虹の架け橋教室 コーディネーター)

- ・ 不就学の子どもを見つけて学校に通わせるのが架け橋教室のねらい。
- ・ 学費が払えない子どもがおり、公立学校に行くこどもがでてくるがいじめなどおそれているこどもがいる。
- ・ これだったら大丈夫と思えるよう子どもに見学させたい。
- ・ 50分の中に3つの指導内容が入るのを見て、目からうろこであった。

(主任) 団地の現状(児童部長からの伝言)

- ・ 団地にすんでいる外国人児童生徒は、あいさつができています。
- ・ 苦情は多く特に、大人への苦情が多い。
- ・ 南中に通っていない子どもとのつながりが子どもとあって夜出歩いているが、南中の子は注意されると素直に聞く。
- ・ 親が夜勤で家にいないと夜更かししている子どもがいる。

諸連絡

- ・ 全国の市町の中で岩倉市の外国人の割合は8位。
- ・ 全国的に外国人は減っているが、岩倉市の外国人児童生徒数は横ばい。
- ・ 11月は東小で公開指導を行う。

教育長あいさつ

- ・ 本日、日本語の公開指導をいたしました。本来ならもっと沢山の外部の方に参加していただけるとありがたいです。今回、身内ばかりで残念でございます。秋には市内全部の区長さん等々にも呼びかけをして参加していただけたらいいと思います。一般の方に参加されなくなってきたというのはこういった適応指導教室が安心して見ていられる状態になった。だから、参加しなくても良いというような気持ちもあるのではないのでしょうか。

この地区(南中 地区)の方々の外国籍に対する偏見は減ってきております。逆に、あまり外国籍の子どもとなじみのない地域で偏見が残っていると思います。最近の外国籍の人たちはかつての出稼ぎから定住に変化してきているような気がします。日本の経済が不安定な中で日本でやっていこうとする人が増えてきているわけで、そういう方々たちへの支援をつづけていきたいです。

特に私どもは子どもへの教育、そういう面に関してはいままで以上に力をいれていきたいです。ブラジルの子どもたちから自分たちがいじめられているようなことばが出るということはまだまだ指導がたりないという事でもあるのではないかとそんな思いがします。すべてのこどもたちに幸せになってもらいたいというのが我々の願いでございます。そういったさらに充実させていくなかで、存続させ発展させていきたいと思っております。指導の先生の苦勞は多いと思いますがよろしくお願い致します。

公開指導（第2回 - 東小）平成22年11月25日（木）3時間目 10:55～11:40

指導場所及び指導内容等

	ポルトガル語指導	学校生活適応指導	日本語指導	
		日本語初期指導	初級指導	中級指導
指導場所	東小 日本語適応指導教室	岩倉市 日本語初期指導教室	東小 日本語適応指導教室	東小 和室
	南館1階	南館1階	南館1階	南館2階
指導内容	ポルトガル語指導 母語指導	日本語初期指導 集中指導	日本語初級・中級指導 取り出し指導	
外国人児童の状況及びねらい	日本に長く住んでいる児童は母語であるポルトガル語を忘れてしまい、親とのコミュニケーションがとれなくなったり、帰国したときに不自由したりする。そこで、母語を保持するとともに、ブラジルの教育を取り入れて指導している。	日本に来て間がなく、日本語を聞いたり話したりできない児童に対して、ひらがなや数字の読み書き、ものの名前などの語彙をふやし、自分の気持ちを日本語で表現できるように、東小学校を会場にして、週20時間集中初期指導をしている。	日本語を読んだり書いたりする能力はある程度身につけているが、まだ、教室での授業についていけない児童に対して、学習で使う言葉の意味や学習用具の名前などを指導している。 日本の生活習慣についての指導も行っている。	
指導者	ブラジル人講師	日本語担当者 (ブラジル人講師)	日本語担当者	
指導する外国人児童	・5年生 5人	・1年生 2人 ・2年生 1人 公開当日、学校生活適応指導対象児童生徒がいない場合は、学校生活適応指導が終了して間がない児童の指導を行います。	初級指導 ・2年生 4人 中級指導 ・4年生 3人	

ポルトガル語指導（日本語適応指導教室）

ポルトガル語の文章を読んで、問題に答える。

カードを見ながら、複数・単数・形容詞を学習し、問題を解く。



日本語初期指導（岩倉市学校生活適応指導教室）

拗音の表記を覚える。
存在を表す動詞「いる」「ある」を適切に使えるようにする。
基本的な形容詞、色、形をあらわす言葉を知る。
日本の遊び（おはじき）に触れる。



日本語初級指導（日本語適応指導教室）

働く人とその場所を覚える。
算数 九九の2・3・5の段を練習し、九九ビンゴに取り組む。
日本語（国語）「ことばの順序」「ことばの仲間」「正しい文」を学ぶ。



日本語中級指導（和室）

正三角形と二等辺三角形について復習し、図形パズルを使って正方形作りをする。
漢字のカードを組み合わせて2～4文字の熟語を作り、カードに記されている点数を九九を利用して計算する。
4年生までに学習した算数の用語が理解できているかを確かめ、用語カードを使ってババ抜きゲームをする。
日本の年末年始の慣習を学習し、理解を深める。



学校訪問 - 指導例（曾野小）

平成22年10月 4日（月）

- 日本語指導 中級（ステップ3）
学習を理解するために必要な語い、熟語、多様な表現、日本語能力試験
- 日本語適応指導教室のねらい
人と人とのコミュニケーションを図るために、意思の伝達手段として、言葉は重要である。外国人児童は、日本語を母語としないため、自分の気持ちを先生や友達に伝える時の表現力が劣り、意思の疎通がうまく図れない場合がある。そんな外国人児童に対して、語い量を増やし、時と場に応じた言葉の使い方を指導することで、コミュニケーションが円滑に図れるようになり、今まで以上に日本の生活に適応することができるようになる。
また、学校生活に適応し、楽しく過ごしている児童でも、学校でしか使わない学習用具の名前や教科書に出てくる言葉など耳慣れしていない言葉が理解できずに戸惑うことが多い。
さらに、漢字文化圏外の児童にとって、漢字の読み書きを習得することは非常に困難なことである。
上記のような実態をふまえ、日本語を話せるから日本語指導が必要ないということではなく、日常の学習活動に参加できる日本語力を身に付けるまで指導をすることが大切であると考えます。
- 目指す子ども像
(1) 教科用語の意味や学習用具の名前を覚え、教室での学習内容が理解できる。
(2) 意味を理解して使える語いを増やし、自分の気持ちを豊かに表現できる。
- 指導内容
(1) 言葉の意味を考えながら、熟語をつくり、音読み・訓読みに注意して読めるようにする。
(2) 耳慣れしていない『教科用語』の意味を理解し、『学習用具』の名前をわかるようにする。
(3) 日常生活に出てくる多様な表現を知り、意味を理解できるようにする。
(4) 日本語能力試験N2レベルの語い・文法・聴解・読解力を身に付けるようにする。
- 日本語の習得状況及び課題（H22.9現在）

日本語力・教科力テストより		A(5年)	到達状況	B(5年)	到達状況	C(5年)	到達状況
語い力テスト	もののなまえ	61.6		77.8		79.4	
語い力テスト	学習用具	70.0		81.7		80.6	
語い力テスト	教科用語	62.2		69.4		71.1	
漢字力テスト		77.3		79.8		77.7	
計算力テスト		73.1		65.4		61.9	
算数テスト	文章問題力	66.6		70.2		67.2	
算数テスト	図形力	81.6		75.3		74.1	
日本語能力4～2級テスト		68.3		61.7		80.0	
平均		70.1		72.7		74.0	

100点満点法

・十分習得

・ある程度習得

・課題

- 本時の指導
(1) ねらい

- ア 熟語になったときには、読み方がわかることを知り、正しい読み方ができる。(A・B・C、漢字)
 - イ 家庭科で使う用語・用具を知り、教室での学習活動に生かす。(A・B・C、教科用語・学習用具)
 - ウ 2学期の祝日や秋に収穫されるものを知り、生活用語を身に付ける。(A・B・C、語い)
 - エ 日本語能力試験の文法・語い問題を解き、文章表現や語いを身に付ける。(A・B・C、文法・語い)
- (2) 用意するもの 教師・・・提示用資料、ワークシート、プロジェクター

(3) 指導語い

- ア 漢字 - - - - - 【お祝いの日】祝日 【建てられた物】建物 など
- イ 用語・用具(家庭科) - しゃもじ フライパン ミシン めい糸 はり すいはんき など
- ウ 祝日 - - - - - 敬老の日 体育の日 文化の日 勤労感謝の日 天皇誕生日
- 野菜・果物 - - - - - ナシ ぶどう りんご さつまいも くり しいたけ など
- エ 日本語能力試験 2級問題

(4) 指導内容

	児童の活動	教師の支援
漢字 (10分)	1 漢字2文字の熟語をつくる。(A・B・C) ・ 言葉の意味や使われている漢字から熟語をつくる。 ・ ワークシートに書いた熟語を読む。	音読み、訓読みを意識しながら、言葉の意味を確かめる。
教科用語 学習用具 (12分)	2 家庭科で使う用語や用具の名前を覚える。(A・B・C) ・ 絵カードと言葉カードを組み合わせる。 ・ 絵付きワークシートに用語を書く。	耳慣れしていない言葉は、繰り返し耳に入れる。 ランダムに選んだカードを提示し、繰り返し提示するように配慮する。
文化 行事 (13分)	3 日本の祝日を知る。(A・B・C) ・ 2学期の祝日名と日付を確かめる。 ・ 祝日名と祝日の意味が書かれたカードを組み合わせ、ワークシートに書く。 4 日本の秋に関する表現を知る。(A・B・C) ・ 前時までに学習した秋に関する表現を復習する。 ・ 秋に収穫される野菜や果物をカードから選ぶ。 ・ 野菜と果物をの違いを考え、ワークシートにまとめる。	日常生活の中でなじみが薄い事柄なので、祝日名と意味を確かめる程度にとどめる。 日本には四季があり、季節に応じた伝統文化や行事、収穫される作物があることを伝える。
日本語能力 (10分)	5 日本語能力試験N2レベルの問題に取り組む。(A・B・C) ・ 選択方式で文法問題を解く。 ・ 語い問題に取り組む。	多種・多様な語いや表現、文法にできるだけ多くふれるように配慮する。

(5) 到達状況

- ア 熟語をつくり、音読み・訓読みに注意して、正しい読み方ができたか。(A・B・C、漢字)
- イ 家庭科で使う用語や用具の名前を覚えることができたか。(A・B・C、教科用語・学習用具)
- ウ 祝日名を覚え、秋に収穫される野菜や果物を覚えることができたか。(A・B・C、語い)
- エ 日本語能力試験N2レベルの問題が解けたか。(A・B・C、文法・語い)

(6) 板書計画

<p>家庭科で使う用語や用具</p>	<p>日本の祝日 2学期</p> <p>秋に収穫される野菜やくだもの</p>	<p>熟語をつくらう</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>お祝い</td> <td>祝日</td> <td>建物</td> <td>漢字</td> </tr> <tr> <td>しゃもじ</td> <td>フライパン</td> <td>ミシン</td> <td>めい糸</td> </tr> <tr> <td>はり</td> <td>すいはんき</td> <td>ナシ</td> <td>ぶどう</td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td>さつまいも</td> <td>くり</td> <td>しいたけ</td> </tr> </table> <p>2級 文法 問題 第三回</p> <p>問題IV 次の文の _____ にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選ぶなさい。</p> <p>(1) 私はこの競技に命をかけていますので、たとえケガをするようであっても、_____ と思っています。</p> <p>1 心配だ 2 安心だ 3 良い 4 仕方がない</p> <p>日本語能力試験 N2</p>	お祝い	祝日	建物	漢字	しゃもじ	フライパン	ミシン	めい糸	はり	すいはんき	ナシ	ぶどう	りんご	さつまいも	くり	しいたけ
お祝い	祝日	建物	漢字															
しゃもじ	フライパン	ミシン	めい糸															
はり	すいはんき	ナシ	ぶどう															
りんご	さつまいも	くり	しいたけ															

視察（市外）

- 愛知県小牧市 教育委員会 視察 - 5名
- 小牧市教育委員会 指導主事 1名
- 初期指導教室 担当者（語学相談員）4名

10:45～11:10 東 小

学校生活適応教室及び日本語指導教室の参観

11:10～11:35 東 小

学校生活適応指導取組説明 - 東小校長，主任



問い合わせ 平成22年度分 リスト一覧

文部科学省 国際教育課 関西大学	日本語教材検索リンク 多言語学校プロジェクト 文科省 初等学校教育課よりリンク要請 関西大学より，検索リンクが文科省に移行するとの連絡
埼玉県鳩山町教育委員会	外国人児童生徒 受入れ手続きについて
静岡県教育委員会	初期の指導に関するカリキュラム・シラバス等の全体構画について
愛知教育大学	外国人児童生徒受入研究事業 講演会依頼
岡崎市 文化国際課	母語指導の必要性（市費で外国人講師を雇う意義）について
虹の架け橋教室	公開指導・意見交換会参加 1名
滋賀県教育委員会 学校教育課	外国人受入促進事業フォーラム 講師依頼（滋賀県庁）
虹の架け橋教室	南部中学校訪問 懇談 2名
名古屋市教育委員会	岩倉市の取り組み「初期指導教室について」
文部科学教育通信 編集部 名古屋外国語大学 教授より	「文部科学教育通信」 原稿執筆依頼
西尾市早期適応教室指導員	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育委員事業 講師依頼
瀬戸市立八幡小学校	学校経営案について
小牧市教育委員会 初期指導教室 担当者 5名	小牧市初期指導教室 開設に伴う相談

こども未来財団 小規模研修事業 多文化プレスクール研修会
西尾市青年の家

指導計画と実践者たちの報告 - 子どもと家庭への指導 -
平成18～20年度に実施された愛知県プレスクール事業を中心に、実践発表

- (1) 指導計画の立てかた
 - 子どもの環境（言語・生育環境）を知る
 - 子どもの両言語のちからを知る
 - 目標（入学時にのぞまれる子どもの姿）を知る
 - 母語、母文化を尊重する
 - = 親子のコミュニケーション
- (2) 実践
 - 学校生活指導
 - 読み書き指導
 - 基礎的な算数の概念・数指導
- (3) 評価
 - 100問テスト
 - 絶対評価



教材作りワークショップ

- (1) 目的に合わせた教材の作り方について
 - 道具の使い方（えんぴつの持ち方、掃除道具、はさみ・のり、箸など）
 - 生活（挨拶、座り方、トイレなど）
 - 日本語（会話、語彙）
 - 文字（読み、書き）
 - 数、形
- (2) 教材づくり
 - 漢字ばらばらカード
 - 数字のへび



全国海外子女教育国際理解教育研究協議会
第4回 東海ブロック国際理解教育研究大会（三重大会）
大会テーマ「多文化共生の時代を切り拓く児童生徒の育成」
- 新たな国際理解教育の創造をめざして -

外国人児童生徒の学校生活適応指導

- 岩倉市の取組
 - ・ 目的
 - ・ 適応指導教室の概要
 - ・ 特色
- 日本語指導法
 - ・ 学校適応指導（ステップ0）
 - ・ 初期～上級指導（ステップ1～ステップ4）
 - ・ 日本語能力試験
- 外国人児童生徒を指導する際に配慮すべき事項



意見交換

- ・ 中学生の進学・就職について
- ・ ポルトガル語教育について

滋賀県「帰国・外国人児童生徒受入促進事業」フォーラム 滋賀県庁 大会議室

講演「外国人児童生徒の学校生活適応指導」

- ・ 現場に必要な知識
- ・ 子どもたちへのアプローチ
- ・ 学校適応～上級の日本語指導

1 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

岩倉市の取組

- ・ 連絡協議会
- ・ 適応指導教室の概要
- ・ 受け入れ手続き 教育委員会・在籍校
- ・ 公開指導・意見交換会
- ・ 外部視察・研修会
- ・ 日本語担当者の適性

日本語指導法

- ・ 学校適応指導（ステップ0）
- ・ 初期指導～上級指導
（ステップ1～ステップ4）

参考資料

- ・ 岩倉市日本語適応指導教室
ホームページ

2 適応指導教室マニュアルより

3 外国人児童生徒の受け入れガイダンス



お礼状・アンケート結果

2 講演1 「外国人児童生徒の学校生活適応について」(村瀬英昭氏)について

①大変参考になった ②参考になった ③あまり参考にならなかった ④参考にならなかった

(意見: 組織として取り組むことの大切を感じた。教材の工夫も大変参考になった)

(意見: 「愛のある適応指導教室」見捨てないことという言葉が印象に残りました。
自分も、自分なりに精いっぱい子どもと関わっていこうと思いました。

(意見: 「日本-愛のある適応指導教室」という言葉が印象に残った。
組織としての大切であることがよく理解できた。

(意見: 既以との役割を学んだ。
講師の方の、外国人児童生徒に打ち向き合う姿勢を感じた。

(意見: 資料が冊数が多いので、後でゆっくり読みたい。ホームページも見たいと思った。
あと、時間をとっていただければゆっくり話が聞きたかった。

(意見: 教材教具が工夫されていて参考になった。多くの資料をいただいたので後で参考にしたい。

(意見: 指導手法は外国人児童生徒のみならず、学力不振の子への指導にも通じるものがあると痛感した。

拝啓

菊薫る候、先生におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る十月七日に、帰国・外国人児童生徒受入促進事業フォーラムを開催しましたところ、たいへん御多用の中、貴重な御実践を御紹介いただきましてありがとうございます。

先生に、外国人児童生徒教育について、適応指導教室主任というお立場からお話しいただきましたことで、参加者が具体的に多くの学びを得ることができました。

参加者の事後のアンケートによると、「大変参考になった」または「参考になった」と感じた方が九割以上となり、先生の御講話が、参加された先生方の今後の実践にとって大いに参考となったことを実感しております。

これからも、本県の外国人児童生徒教育振興のため、格段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日のアンケートの一部を別紙の通り添付しましたのでの御覧いただけると幸いです。

季節の変わり目ゆえ、十分に御自愛くださり、御活躍いただきま

すことを祈念しております。
本来なら、直接お伺いして、御礼を申し上げますところですが、略儀ながら書面をもって御礼を申し上げます。

敬具

平成二十二年十月十三日

滋賀県教育委員会事務局

学校教育課長 辻 寿朗

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

主任 村瀬 英昭 様

講演 『外国人児童生徒の学校・学習適応と家庭環境』
学校・学習適応～上級の日本語指導

- 1 外国人児童生徒を取り巻く環境
 - ・ 入管法改正
 - ・ 外国人の意識の変化
 - ・ 日本語指導が必要な外国人児童生徒
 - ・ 愛知県・岩倉市の現状
 - ・ 岩倉市の取組
 - ・ 外国人児童生徒の学習・家庭環境
- 2 日本語指導法
 - ・ 実際の指導で配慮すべき事項
 - ・ 日本語能力に応じた日本語指導法・具体的指導例
- 3 参考資料 『マニュアル』より抜粋
- 4 外国人児童生徒のための受入れガイダンス



【愛知教育大学 教授からのメールより抽出】

その節は大変お世話になりました。ありがとうございました。
学生からもいろいろな反応が返ってきていますが、貴重な話が聞けた、視点が広がったという感想が多いようです。
さて、先生が講演会でお話しされた内容をまとめてみました。少々少ないかと思いますが、報告書として扱いたいと思っています。
もし、お気づきの点などありましたらお伝え頂ければ幸いです。
今回の先生の話は、今後の外国人児童生徒の指導のあり方に貴重なご意見として参考にさせて頂きたいと思っております。
これからもご健勝でご活躍下さい。

マニュアルの改定（管理職，教務主任，養護教諭，学級担任）

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室
校長先生・教頭先生へのお願い・確認事項 第2版 (H21.4)

目次

平成21年度 連絡協議会 組織図	P.1
日本語適応指導教室 概要	P.2
岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室のあゆみ	P.4
日本語適応指導教室の理念	P.5
日本語適応指導教室の特色	P.5
岩倉市日本語適応指導教室ホームページ	P.5
各校との連携	P.6
日本語適応指導教室の原則	P.6
連絡協議会・委員会	P.6
担当者の各課校での役割・業務関係	P.7
日本語担当者、ブラジル人講師 内部規程	P.7
公開指導	P.8
日本語力テスト・評価	P.9
指導カリキュラム	P.10
巡回指導	P.10
ポル/ガル指導	P.10
初期指導	P.11
ブラジル人講師（ミズカミ先生・沼倉先生）	P.12
日本語能力試験	P.12
指導案 指導案形式（指導案例）	P.13
教材開発及び研修	P.14
各校への訪問	P.14
人材派遣会社との情報交換	P.14
外国人児童生徒の転出入	P.15
ブラジル人講師	P.15
岩倉市日本語適応指導教室の方針 ① ② ③	P.16
問題が発生した場合の対応	P.19
配布文書	P.19
翻訳文書—総論書類（録録）	P.20
文化・習慣・宗教上の諸問題	P.21
確認事項	P.22
学校校務・問い合わせなど	P.22
保護に入っている・帰国に入っていない—社員	P.25
「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受け入れ状況等に関する調査」	P.26
1校あたり1名に在籍する「日本語教育が必要な児童生徒数」	P.30
各市町の人口に占めるブラジル人の割合（全国）	P.31
日本語教育が必要な児童生徒数調査結果（愛知県内小中学校）2008年	P.32

日本語・ポルトガル語適応指導教室主任 村瀬 英樹 承認

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室
養護教諭向け 確認事項
第2版 (H21.4)

△ --- 養護の先生へのお願い・確認

目次

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 連絡協議会組織図	P.1
外国人児童生徒 保護者への受け入れ	P.2
配布文書	P.3
定規書類	P.3
岩倉市日本語適応指導教室ホームページ	P.4
年度別申込み—特別給付外国人児童生徒の検診・検血・健康診断について	P.5
戻校に入っている・戻校に入っていない—比較	P.6
保護者加入日 別紙添付（国文ポータル検索センター）	P.6
初期指導 児童生徒の緊急時の対応について	P.7
翻訳文書—保健関係（4—6月）	P.7
適応指導教室担当	P.7
文化・習慣・宗教上の諸問題	P.8
外国人児童生徒の保護行動	P.9
日本語教育が必要な外国人児童生徒数年度別推移	P.9
初期指導	P.10
ブラジル人講師（ミズカミ先生・沼倉先生）	P.11
日本語指導（指導法・教材研究・教材整備）	P.11
連絡協議会・委員会	P.11
巡回指導	P.11
ポル/ガル指導	P.12
初期指導	P.12
高給との連携	P.12
定規書類	P.12
保健関係翻訳文書リスト	P.12

このマニュアルは、『日本語教育が必要な外国人児童生徒』に対して、岩倉市内の養護教諭と日本語担当者・ブラジル人講師が、同じ目線で指導に当たれるよう、また、様々なケースにどのように対応していくかの指針として作成しました。
日本語・ポルトガル語適応指導教室主任 村瀬 英樹

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室
担当者向けマニュアル 第2版 (H21.4)

依頼・確認事項（記号の見方）

○ --- 校長先生へのお願い
□ --- 教務主任の先生へのお願い・依頼
◇ --- 外国人児童生徒を担当している先生へのお願い・確認
△ --- 養護の先生へのお願い・確認
★ --- 日本語・ポルトガル語担当者の確認

校長先生、教務主任、担任、養護教諭の先生へのお願いや確認事項、担任者への確認事項などが記入してあります。

目次

平成21年度 連絡協議会 組織図	P.1
日本語適応指導教室 概要	P.2
岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室のあゆみ	P.4
日本語適応指導教室の理念	P.5
日本語適応指導教室の特色	P.5
岩倉市日本語適応指導教室ホームページ	P.5
各校との連携	P.6
日本語適応指導教室の原則	P.6
連絡協議会・委員会	P.6
担当者の各課校での役割・業務関係	P.7
日本語担当者、ブラジル人講師	P.7
公開指導	P.8
日本語力テスト	P.9
評価	P.10
指導カリキュラム	P.10
巡回指導	P.11
日本語指導（指導法・教材研究・教材整備）	P.11
初期指導	P.12
ポル/ガル指導	P.12
初期指導	P.13
高給との連携	P.14
定規書類	P.14
保健関係翻訳文書リスト	P.14
日本語・ポルトガル語適応指導教室主任 村瀬 英樹 承認	P.15
日本語・ポルトガル語適応指導教室 主任の役割	P.17
担当教諭の役割	P.17
担任者 責任の所在	P.18
担当教諭の役割	P.18
担任者の役割	P.18
担任者の心算	P.18

教材 新規作成・編集，教材作成用画像の整理

- ステップ0・1（学校生活適応・初期プリント）
- ステップ0・1（学校生活適応・初期プリント）
- ステップ2（初級 プリント）
- ステップ2（初級 プリント）
- ステップ2（初級画像）
- ステップ3（中級 プリント）
- ステップ3（中級 プリント）
- ステップ3（中級画像）
- ステップ4（上級プリント）
- ステップ4（上級画像）
- ステップ2・3・4（日本語能力試験プリント）
- ステップ2・3・4（日本語能力試験画像）
- 漢字教材
- ステップ共通教材
- その他 編集・未整理分

翻訳文書 新規作成，修正分（新規に英語版を追加）

- 学校で使う用語・会話
- 学級経営
- 学校行事 運動会関係
- 学校行事 遠足関係
- 学校行事 家庭訪問関係
- 学校行事 学芸会・学習発表会関係
- 学校行事 修学旅行
- 学校行事 卒業関係
- 学校行事 入学式・1日入学・始業式関係
- 学校行事 野外活動・自然教室
- 学校文書 PTA活動
- 学校文書 安全確保

学校文書	夏・冬・春休み関係
学校文書	個人・地区懇談・保護者会関係
学校文書	授業参観・親子集会・教室案内
学校文書	集金・PTA会費関係
学校文書	体育・プール関係
学校文書	地震・台風・災害時関係
学校文書	中学校 部活動
学校文書	中学校関係
学校文書	中学校入学・進学関係
学校文書	通知表・要録関係
学校文書	転出入・去校・一時帰国
学校文書	東っ子
学校文書	保護者への連絡
帰国文書	ポルトガル語・スペイン語・英語
帰国文書	帰国手続きの方法 日本語文
帰国文書	公印確認申請書
行事予定	
市役所申請関係	
就学時健診	

日本語・教科テストの改定（新指導要領に合わせて）

新規追加分

- ・ 中学生用のテスト
 - ・ 日本語（国語）テストの充実
- 改定に合わせて、評価方法や集計一覧表の見直しを図る。

保護者への発信

学校から保護者の方への情報発信の追加

ホームページ Homepage

パソコンや携帯電話から以下のサイトにアクセスすると、「学校からのお知らせ」を見ることができます。このサイトでは、学校の行事予定、持ち物、授業参観の時間など、学校からのお知らせが確認できますので、定期的にチェックしてください。

<http://www.iwakura.ed.jp/nihongo/E29.htm>

ボイスボックス Voice box

緊急の際には、「ボイスボックス」が便利です。例えば、プールが開放されているか、台風の日でも授業や学校行事（運動会や遠足など）があるか、分からないときなどに利用できます。家庭の電話から利用できるほか、携帯電話や公衆電話からも利用できます。

岩倉市日本語検定（検討中）

児童の意欲付けのため実施

日本語力のみにしぼり、検定基準等は、原則、各学年1～10級とする。

外国人児童生徒の保護者向けオリエンテーション（計画中）

通訳配置 フィリピン語通訳の配置に配慮

- ・ 保護者会
- ・ 就学時検診
- ・ 1日入学

日本語能力試験

平成22年度 日本語能力試験 受験結果

- ・ N1 合格者・・・ 3名 (受験者8名中)
- ・ N2 合格者・・・ 6名 (受験者9名中)
- ・ N3 合格者・・・ 4名 (受験者5名中)
- ・ N4 合格者・・・ 1名 (受験者1名中)

23名の受験者中・・・合格14名, 不合格9名

職場体験

2名 - 曾野小学校
1名 - 岩倉東小学校



岩倉市立曾野小学校様

村 諒原先生をはじめ、指導してくださった先生方へ
 10月19、20日に行われました職場体験会では
 たいへんお忙しい中にもかかわらず、私たちのために
 お世話になりました、ありがとうございました。
 おかげさまで、貴重な体験をすることができました。
 曾野小学校に行きたのは初めてだったのに、
 先生たちが優しく丁寧に教えて下さったので、
 東小の時と同じように思っていました。
 私が曾野小学校に行き学んだことは、まず小学生は
 勉強していくにつれて、自分の覚え方を見つけていくのだな
 り思いました。また、考えかまひや考えにくい子がい
 たら、大変分かりました。

今、体験会後のレポートを作成しています。
 2日間の貴重な体験会での指導していただいた
 ことを糧にして、今後の自分のためにも職業小
 進学各について積極的に学びたい
 と思っています。

平成22年10月22日
 岩倉市立南都中学校2年
 原サコ

国語教育と日本語教育

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

主任 村瀬 英昭

平成二十二年度から、新学習指導要領が実施される。これまでの学習指導要領と比較しながら、国語教育におけるコミュニケーション能力の育成について考えてみたい。

「話し合いの概念」の変化

新旧二つの指導要領を読み比べてみると、コミュニケーション能力の育成についての考え方が変化してきていることが分かる。

それぞれの学習者指導要領解説(以下「解説」)「国語編」で、コミュニケーション能力と直接かかわる「話し合う」ことに関して記述された一部分を読み比べてみると、これまでの「解説」では、「話し手と聞き手が相互に入れ替わりながら、一対一もしくは少人数で、知らせたいことや分かり合いたいことについて話し合う」とあるが、新しい「解説」では、「話し手と聞き手が交互に入れ替わりながら、流れに沿って進めていくものである。そこで、低学年では、互いの話を集中して聞き、話の内容を理解した上で話題に沿って話したり、再び聞いたりすること」と記述されている。さらに、今回新設される「② 言語活動例」では、「イ 尋ねたり応答したり、グループ

で話し合って考えを一つにまとめたりする。」とした上で、「話題に関して最終的に考えを一つにまとめることを求めている」という解説が付加される。

二つの「解説」を比較すると、「話し合い」の概念が、「意見を交換することから、「考えを混ぜ合わせ、話す・聞く活動を交互に行うことによって、重層的に結論を変化させていく」ことへと変化していることが分かる。

「コミュニケーションとは何か」

前回の改定において、指導事項の改編がなされ、「話す・聞く」という項目が新設された。国際化社会に対応するために、コミュニケーション能力を高めなければならないというのが、その理由の一つであった。基礎的な力を育成する小学校の国語指導においては、話し方の基礎、聴き方の基礎を育成することに主眼が置かれ、「話し方」「聞き方」のスキルを身に付けさせることが大きな目標となり、コミュニケーション能力は、プレゼンテーション能力へと転化して理解された嫌いがある。こうした考えが、今回の改定で、コミュニケーションによってもたらされるものが、相

互に考えを交流した結果として得られる、考えの修正であり、深化であるという考えに変わってきたと理解できる。「話し合い」概念の変化は、学習指導要領における変化に呼応して、もしくはそれに先だって、現場の国語指導でも起こってきている。

これまでの国語教育

これまでの国語教育では、文字の獲得から始まり、言葉の習得、並行して、複数の単語がつながり合って成り立つ文章が表すニュアンスを「読解指導」として行われ、自分の体験や考えを、獲得した知識を基にうまく伝える方法が指導されてきた。コミュニケーション・ツールとして重要な役割を占める言語を学習する教科である国語において、これは当然の結果である。ただ、長い間国語教育では、これらの指導が教師と児童生徒の一対一の関係でなされてきたことは否めない。コミュニケーション・ツールとしての言語に関する知識が増え、言語を用いて自分の意志を伝える方法も身に付けてはきたが、実際の授業の中で、児童生徒が相互にコミュニケーションを成立させ、コミュニケーションの特徴を生か

される授業がなされてきたとは言いがたい。
この傾向は、日本がほぼ単一言語を使い、ほぼ単一の民族が構成している国であるという特徴に由来している。読解指導によって行われる文章のニュアンスの共有は、もともと言語も文化も単一であるため、比較したり、調整したりすることは多言語・他民族の国と比べれば、極めて少ない。

授業の新しい潮流

近年、授業に、従来の「教え込み」から「学び合い」へと新しい潮流が生まれてきている。児童生徒相互の意見の交流を通じて、一人一人の考え方や、学級全体の考え方を深化させていこうというもので、先に述べたコミュニケーションの動きを授業の中で具現化したものとも言える。

そもそも、読解指導においてなされる文章のニュアンスの共有は、コンセンサスをつくることによって成立する。もとより、コンセンサスは、「教え込まれる」ことによってつくられるものではない。この矛盾を解決する現在の決め手が、「学び合いの授業」である。読解指導が求めてきたコンセンサスの形成は、話し合いによって修正され、深められた結果もたらされるべきものと考えれば、それは当然のことと言える。

国語教育と日本語教育

国語教育は、通常、日本語が母国語であることを前提に日本人になされる日本語の教育、すなわち、学校で教えている国語のことを指す。日本の国語教育は明治政府の義務教育政策

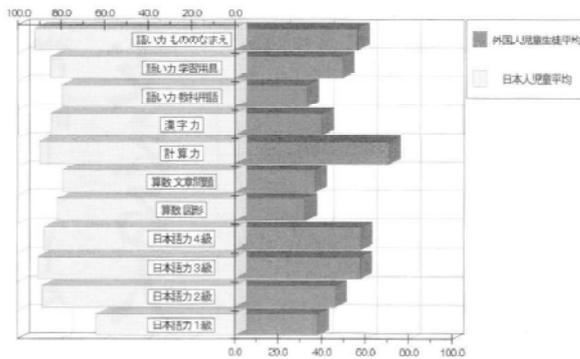


図1 外国人児童生徒と日本人児童の日本語力・教科力の比較 (岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室作成のテスト結果より)

に始まり、現在に至っている。一部の教育団体では、日本語を母国語とする人を対象とする国語教育を日本語教育と表す場合もあるが、世間一般に国語教育という言い方が浸透している以上、国語教育と日本語教育は、別の意味をもつ用語としてとらえるのが、誤解を生じにくいと思われる。

国語教育と日本語教育は、日本語を教えるという点では共通しているが、日本語を母国語として教えるか、外国語として教えるかという点でスタートラインが違ってくる。外国人児童生徒と接していると日本人児童生徒が理解できて当たり前ということから指導しなければならぬ場面が多々ある。日本語を外国語として学ぶ外国人児童生徒は、母国語、学習歴、生育歴、文化的背景、興味、年齢などもさまざまであり、個々の日本語能力にに応じて、外国語としての日本語を効率よく教えることを考慮しなければならぬ。

また、日本語教育は、日本人にとっての当たり前が通用しない教育と言う認識にたって指導

に当たるという意識をもたなければならぬ。そこで、実態を知るべく、日常生活用語及び教科用語などの語彙習得・日本語力を日本人児童と外国人児童生徒で比較してみた(図1)。資料は、愛知県岩倉市の小中学校に在籍している外国人児童生徒約一二〇人(小学一年生から中学三年生まで)と日本人児童約二〇〇名(小学一年生から六年生まで)に対して、到達度評価用に岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室で独自に作成した日本語力と小学校で学習する教科内容及び教科用語等のテストを実施し、比較したものである。

調査対象者数が、少ないうえ、外国人児童生徒の滞在年数も学年も違う中での調査であるので統計的な意味はもたないにしても、傾向をつかむことはできる。

外国人児童生徒の日本語力を客観的に日本人児童生徒と比較してみると、全般的に語彙習得・日本語力が日本人児童生徒と比較して劣っていることが分かる。特に、授業でしか耳にしないう教科用語や文章読解力が必要になってくる算数の文章問題、外国人児童生徒にとっては文字としての認識が低い漢字などの差が大きい(図1)。

日本語教育においては、初めて学ぶ言語としての日本語を理解し、意味を理解して使える語彙をより多く習得させることが、外国人児童生徒のコミュニケーション能力の育成につながる痛感している。

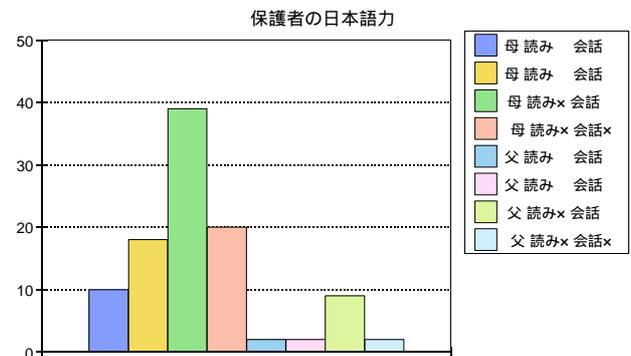
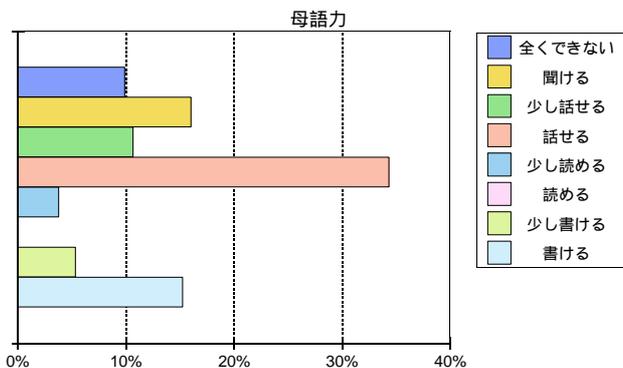
まずは、日本語を母国語とする児童生徒と同じスタートラインにたって初めて国語教育に入ることができると考える。

個人調査票

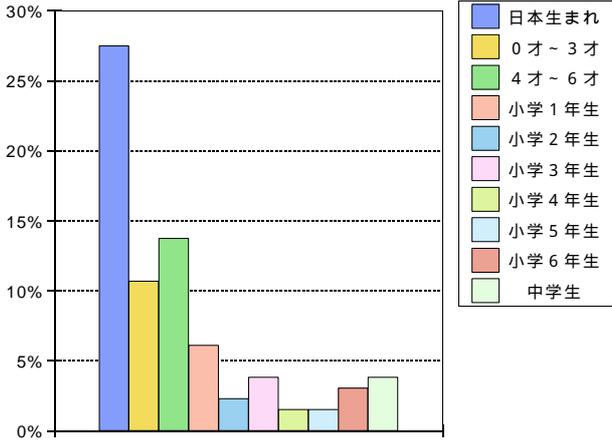
学年	1	備考	
学校名	岩倉東小学校	特になし	
名前			
国籍	ブラジル		
母語	ポルトガル語		
性別	男		
正式名	H		
生年月日	I	備考	
ステップ	2	特になし	
在留資格	日本人の配偶者等3年		
住所	L		
母語力	全くできない		
来日時期	日本生まれ		
生育歴	日本(岩倉のみ)		
卒業後の希望	帰国(母国で進学)		
健康状態	アレルギー		備考
出席状況	欠席 月2~3日程度		特になし
宿題・忘れ物	親の協力で大体できる		
学習塾・習い事	なし		
家族	父母 一人っ子		
親類	近隣にあり		
父親の国籍	ブラジル		
母親の国籍	ブラジル		
人材派遣会社	大和		
保険 有無・種類	国民健康保険		
公的扶助	生活保護		
保護者の日本語力	読み 会話		
学校行事への参加・PTA 活動への参加	常に参加		
帰宅時 家族在宅状況	父母	備考	
連絡先・連絡可能時間帯	0	特になし	
連絡先・連絡可能時間帯	0		
連絡先・連絡可能時間帯	0		
連絡できる友だち	0		
特記事項	日本語能力試験N4		
特記事項	なし		
特記事項	なし		
特記事項	なし		

【外国人児童生徒の学習・家庭環境】

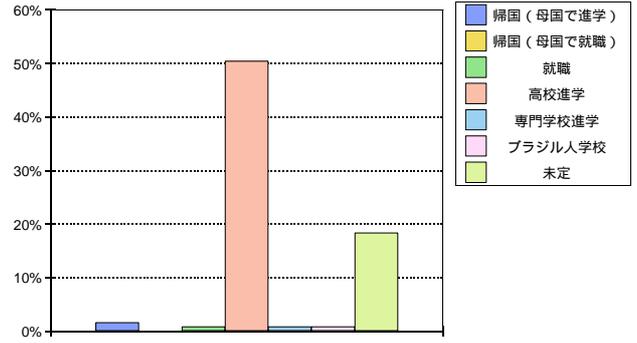
～平成22年12月集計 個人調査票(グラフ)より～



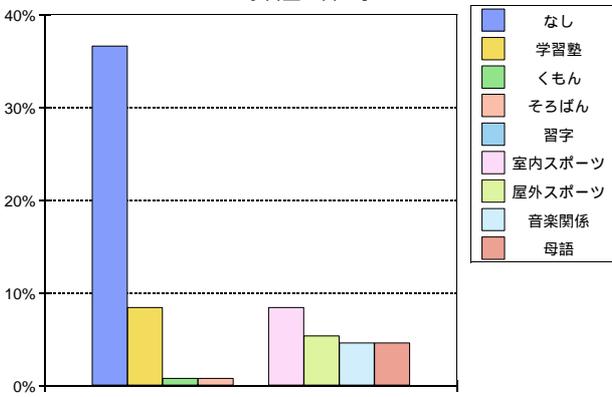
来日時期



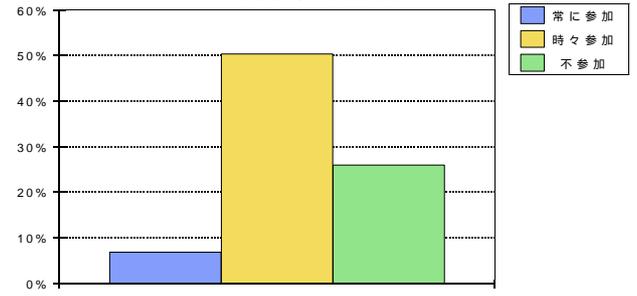
卒業後の希望



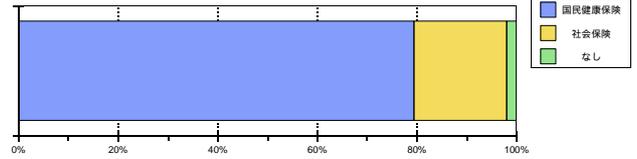
学習塾・習い事



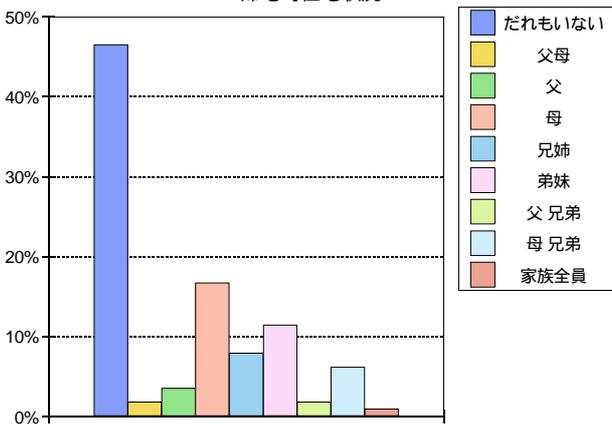
学校行事・PTA活動



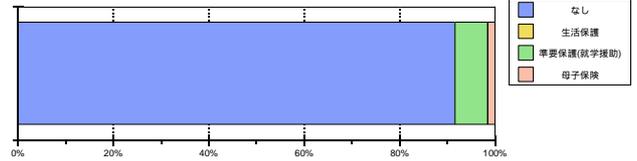
保険加入状況



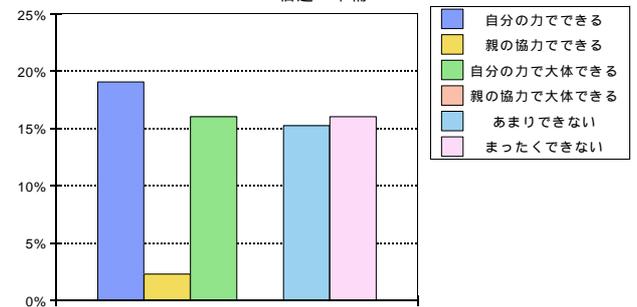
帰宅時在宅状況



公的扶助



宿題・準備



担当者会・研修会（詳細は、別紙 - 担当者会記録を参照）

担当者会で話し合ったことは、在籍校の校長先生・教務主任に報告。
教育委員会へは、主任から報告。

担当者会の進行

各担当者からの報告・課題（責任校・巡回校・初期指導）
各担当者からの報告（研究内容・開発教材など）
共通理解を図るべき事項の検討
担当者会 会場校 校長先生からの御指導

各担当者は、それぞれの役割分担に従って、下記の内容を行う。

教材・テスト作成
指導法・指導内容の研究
児童生徒の日本語力状況確認及び指導時間割の見直し
翻訳文書作成

ブラジル人講師は、随時、話し合いに参加するとともに翻訳文書の作成をする。

個人レベルの研究も各自、自主的に進めていく。

- ・ 担当者会 毎週 火曜日実施
- ・ 研修会 毎週 水曜日実施

外国人児童生徒 追跡調査(H13～H22)作成（別紙）

各校での巡回担当者会 平成21年度より実施

事務局や担当者在籍校で行っている担当者会を市内7校の学校で行い、各校の連絡協議会メンバーだけでなく、校長先生や養護教諭・担任の先生方との意見交換をし、多方面の意見を今後の活動に取り入れていくことを目的に新規設定。

参加者

- ・ 校長先生(教頭先生)
- ・ 教務主任
- ・ 養護教諭
- ・ 外国人児童生徒の担任
- ・ 適応指導教室に興味のある先生
- ・ 日本語担当者7名
- ・ ブラジル人講師2名

情報提供会 ~ 外国人児童生徒の将来について ~

外国人児童生徒の定住化に伴い，高校進学や就職についての情報発信と意見交換会を設定。

日時:平成 23 年 3 月 11 日(金) 15:00 ~ 15:50

場所:南部中学校 第 2 音楽室(本館 3 階)

対象:中学校 1、2 年生 外国人生徒

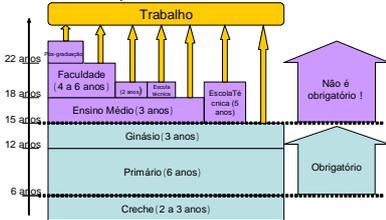
Convidados : Os alunos estrangeiros das 1a e 2a séries do Chuugakkou

外国人児童生徒の保護者で来られる人

Os pais ou responsáveis dos alunos estrangeiros que puderem vir (do ginásio e da escola primária)

内容: 中学校を卒業したら Depois da formatura do ensino fundamental
 卒業生の体験談 Experiências dos ex-alunos
 日本語能力試験について Sobre a exame de proficiência da língua japonesa

1 Depois de formar no Ensino fundamental
Escola do Japão



2 Ingresso escolar

Quanto vai custar para estudar no ensino médio ?

	público Integral	público vespertino	particular Integral
Total necessário para poder matricular (fev a abril)	¥150,000	¥5,000 -- ¥10,000	¥500,000
mensalidade	¥12,000	¥2,700	¥40,000
Total que foi gasto em 1 ano	¥520,000	¥35,450	¥800,000 ~ 1,000,000

A partir de abril de 2011, o governo começou a ajudar o mensalidade do colégio. Tem ajuda de despesa escolar (¥9,900) por mês. Por isso, despesa anual vai ser ¥120,000 menos do que o preço da tabela da cima.

Exame de proficiência de língua japonesa

O que há de bom se passar no exame de proficiência de língua japonesa?

N1 N2 N3 N4 N5

← Dificil Fácil →

Se passar no nível N2, terá uma vantagem para arrumar um emprego.



卒業生の体験談

- ・今何をしているか？
最近高校卒業して，春から大学生になる。
- ・大学で何を勉強するか？
英語と中国語を勉強する。
- ・中学校のときしてよかったことは？
あきらめず最後までやること。
- ・あきらめそうなことがあったか？
南部中学校にいたのが，1 年ちょっとで，友達が少なく，学校に行くことが辛かった。
- ・将来の夢は？
空港で働くこと。
- ・中学生に伝えたいことは？
いっぱい勉強して夢に向かって頑張ってください。
- ・高校受験のためにどれくらい勉強したか？
テストの時に焦って勉強をして大変だった。今から少しずつ勉強してほしい。
- ・高校での勉強は難しいか？
高校では赤点を取ると追試や補充があって大変だった。提出物を出さないと補習になる。授業態度も加味される。自分で考えて勉強しなければいけないことがあった。

- ・今何をしているか？
仕事をしている。
- ・中学校のこと覚えてますか？
あまり思い出したくない。
- ・中学校のときにしなければよかったことは？
中学校をやめてしまった。勉強は好きでなかった。夜出歩いて踊りに行っていた。そのときのことを後悔している。現在は，毎日仕事に行っている。嫌な上司でも頭を下げて頑張っている。中学校の頃もう少し頑張っていたら今よりもう少しよかったのではないかと思う。
- ・将来の夢は？
今のところは仕事をしようと思っている。そのあとブラジルの大学に入学してメカニックになるための勉強をしたい。メカニックになるのは大変だからたくさん勉強しないといけないと思う。勉強することが夢につながると思う。
- ・今中学生のみんなに伝えたいことは？
あきらめないで，今，たくさん勉強してほしい。